

## さまよえる心電図

札幌市医師会  
北海道労働保健管理協会 札幌総合健診センター

なかむら かずひろ  
中村 一博

私が子供のころ、「さまよえる湖」という本が流行っていました。中国新疆ウイグル自治区のロプノール湖という巨大な湖が、砂漠の中を移動するという内容でした。子供ながらに世界には凄いところがあるのだと感心したのを覚えています。心電図にも波形がコロコロ変わる、「さまよえる心電図」があります。それがブルガダ症候群の心電図です。

ブルガダ症候群の心電図についてはcoved型やsaddleback型という特徴的な波形が有名ですが、その波形に日内変動があり、同一人物の心電図波形がコロコロ変わることはあまり知られていません。ブルガダ症候群の心電図波形の成因には脱分極異常と再分極異常の両方が関与しており、発熱時、運動負荷直後、大量飲食後に顕在化しやすいと言われています。またNaチャンネル遮断薬の投与でも顕在化するので、不用意にI群の抗不整脈薬を投与すると突然死することが理論的にはあり得ます。まさに「さまよえる心電図」だと言えます。

右の心電図は当センターを受診した、30代男性のもので、ご本人には失神などの明らかな自覚症状はありませんが、45歳以下の突然死の家族歴があり、お父様はブルガダ症候群の診断を受けているとのことでした。2021年の心電図は当センターで記録したのですが、V1誘導にcoved型のブルガダ症候群の波形を認めます。2020年の心電図は他院から取り寄せたものですが、V1誘導には0.2mV程度のST上昇の所見しか認めません。この受診者にとっては偶然、運良くブルガダ型心電図が発見されたと考えられます。

ブルガダ型心電図の頻度は1000人に1人と言われているので、先生方が外来でブルガダ型心電図を見つける可能性は高いと思います。ブルガダ型心電図を見つけるコツは、あやしいと思ったらV1～V3誘導心電図を1肋間上、さらにあやしいと思ったら2肋間上で記録することです。2肋間上でようやくcoved型の心電図が現れることもあります。運良くブルガダ型心電図を見つけたら、その心電図のコピーを紹介状に添付してください。紹介状だけでは、先方へ受診したときの心電図が正常に戻っていた場合、循環器内科の先生は判断に困ってしまいます。専門外の医師の役割は、患者を見逃さずに専門医へ紹介することであり、ここまでできれば十分だと思います。

ひと昔前、ブルガダ症候群は「ポックリ病」と恐

れられていました。しかし、研究が進み「遺伝性不整脈の診療に関するガイドライン」（日本循環器学会、2017年改訂版）には、日本における心イベント発生率は、心室細動既往例で年8～10%、失神既往例で年0.5～2%、無症候例では年0～0.5%程度であり、「無症候群は比較的予後が良好であると推測される」と記載されています。循環器疾患について最新の知識を得るには、日本循環器学会のホームページに公開されている「循環器病ガイドラインシリーズ」を読むのがお勧めです。日本循環器学会の会員以外でも自由に閲覧可能です。

